

局長序



2008年は様々な挑戦に満ちた1年でした。たとえ世界的な金融危機の襲来に直面しても、私どもはこれまでどおり誠意をもって、入居企業に最も上質なサービスを提供してまいりました。そのために、特別チームを組み、各入居企業を訪問し、問題解決に協力させていただきました。また行政院劉院長のご配慮も得て、2008年12月25日に企業懇談会を開催し、各社のご意見を伺いました。

南部科学工業園區（以下、南科と略称）は、台湾で最も垂直統合の進んだ平面ディスプレイ産業、安定した発展を続けている集積回路産業、勢いのあるソーラー産業などを擁することで定評があります。これらに加え、近年では、バイオテクノロジー医療機材産業、クリーンエネルギー産業、電気通信産業などの産業集積を積極的に推進するなど、新興産業の発展と高雄園區産業クラスターの形成に取り組んでおります。この1年の産業発展を振り返りますと、2008年度売り上げ額は1兆6,425億円に達成し、初の12%マイナスとなった光電子産業以外は、いずれも約15%以上の成長を示しています。これは園区内の産業が多様化と安定的な発展を維持していることの証であります。

また良好な環境の建設も推進されました。高雄園區と中山高速道路の連絡道が2008年完成し、2009年3月には全線開通しました。これによって、高雄園區に更に便利な交通サービスを提供できるようになりました。国立南科国際実験高等学校高校部は2008学年度より生徒募集を開始、園区内の教育体制の整備も進んでいます。2008年には「四大商圈」も形成され、これまで以上に多種多様な生活サービスを提供できるようになりました。そのほか、2008年度には本局が内政部「2006年度ブロードバンド設置計画都会型」の第3位と労働委員会主催「全国職場安全健康週間シリーズ活動成果」の最優秀賞を獲得、環境工学センター検査室は再度環境保護署の査定評価に合格し、環境検査測定（水質項目）許可が延長され、同時に7項目の重金属水質測定項目認証を新規に取得しております。このほかに電子通関サービス「通関サービスe網通系統」とその機器管理室は、情報通信安全ISO 27001認証を取得するなど、私どものサービスの質は各界に評価されております。

南科の開発が始まってからすでに11年あまり、管理局は設立から6周年を迎えました。各界の協力と支援の下、南台湾のハイテク産業の中心としての地位を確立し、かつての砂糖キビ畑はシリコンバレーへと変身を遂げたのです。入居企業と共に、現在の不況の難関を乗り越えるべく、私ども管理局スタッフ一同は、ひきつづき園区内のサービス向上に努め、戦力を強化してまいります。南科をアジアのシリコンバレーに作り上げ、入居企業には安心を約束し、郷土台湾の人々に未来への希望を与えることを願うものです。

